

科目名		授業形態	担当教員名	
体外循環装置学 I		講義	遠藤 宏和	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
人工心肺装置と心筋保護装置、補助循環装置の構成・手技について概説し、特に体外循環装置の原理・構成・構造について知識を深め、体外循環時における非生理的環境下での安全な操作法、保守・管理・事故事例とその対応について講義する。				
授業の到達目標				
人工心肺をはじめとする体外循環は専門知識がなければ安全に使用操作することは危険であり、その重要性を認識し、適切な管理法を習得する。				
授業計画				
回	内容			
1	体外循環について			
2	人工心肺の適応			
3	人工心肺装置 (原理・目的)			
4	人工心肺装置 (装置・種類)			
5	人工心肺装置 (構造機器・組み立て)			
6	人工心肺装置 (脱血法)			
7	人工心肺装置 (貯血槽)			
8	人工心肺装置 (血液ポンプ)			
9	人工心肺装置 (人工肺)			
10	人工心肺装置 (回路・カニューレ)			
11	心筋保護の目的			
12	心筋保護装置 (晶質液)			
13	心筋保護装置 (血液併用)			
14	心筋保護装置 (注入法・温度)			
15	人工心肺関連機器まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
臨床工学講座 生体機能代行装置学 体外循環装置 第2版	見目恭一		医歯薬出版	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
臨床工学技士標準テキスト	小野哲章 他		金原出版	
自由記載				
備考				